

2918回例会 2016年5月19日(木) Vol.43

<ビジター・ゲスト>

埼玉県立 入間わかくさ高等特別支援学校
校長 山口 伸一郎 様

★★★会長の時間 粕谷康彦会長

国際ロータリー(RI)会長のKR、ラビンドランさんが今月号のロータリーの友で、このように呼びかけています。

《あなたのクラブに女性会員はいますか》

「男女の機会均等があったほうがいい」のではなく、奉仕のため、未来のために「無くてはならない」のです。女性の入会促進を最優先させなければ、ロータリーは一步も前に踏み出せないまま暗礁に乗り上げてしまうでしょう。女性を排除しているクラブは本来なら得られるはずの才能、能力、人脈の半分を逃がしています。そして家族や地域社会に効果的に奉仕するために必要な視点も逃がしています。現在世界のロータリアンの約20%が女性会員、ガバナーの約10%が女性、17人のRI理事のうちの4人が女性です。一方日本のロータリーを見ると女性会員は約5%、今年度、来年度女性ガバナーはゼロです。ロータリーに女性会員が入会するようになったのは、僅か30年ほど前のことです。それ以来ロータリーが最も生産的な状態にあることは、偶然ではないという。日本で女性会員が増えないのは日本の状況を反映した結果であるかもしれません。単に日本のロータリークラブが女性会員を否定しているというのではなく、女性の社会進出が遅れていることの反映そのものように思われます。会員増強が叫ばれている



今、女性に期待することは大きいと思います。

5月14日(土)平成28年度入間市環境まちづくり会議総会に、滝沢社会奉仕委員長とともに出席して参りました。入間市は入間川、霞川、不老川があります。茶畑が広がり自然が多く空気がきれいです。今年は春先から気候がよく雨も多く降って、名産の狭山茶も芽がよく伸び平年の3割ほど多く収穫されたそうです。ゴミ拾い隊を編成して豊岡コース、藤沢コースに分かれて、2キロメートルを約2時間かけて街をきれいにする運動を行っています。ポイ捨てゼロ推進運動、主催は埼玉県西部地区地域まちづくり協議会、4市環境課、衛生自治会が作業をしております。路上の喫煙防止キャンペーンも環境を守り未来の子育てに役立てばよいと思います。第5回を迎える入間環境フェアは6月19日(日)に開催されます。

5月18日(水)入間市商工会通常総会に出席して参りました。

入間市商工会は市内の商業活性化、消費の喚起を目的に平成21年度以来となる、プレミアム付き商品券を発売しました。461店舗の加盟店が参加し総額6億5千万円分が市内で消費され、消費者参加事業所からも好評を得ました。又飲食店の活性化として実施した第2回目の「いるバル事業」は、前年度から対象地区を増やし合計80店舗のお店が参加し、チケット販売数は数は約1,000セット、開催3日間はチケットを片手にしたお客様で賑わいました。この2つのイベント事業により入間市活性化に寄与することができました。

西山祐三会長エレクト

本日例会終了後、次年度のクラブ奉仕部門の家庭集会です。又、明日の4大奉仕部門の家庭集会も併せて宜しく願いいたします。

■■■講師卓話■■■

《高等特別支援学校の紹介》

高等特別支援学校 校長 山口 伸一郎 様

旧入間高校跡地を利用して、知的障害のある生徒が学ぶ高等部単独の特別支援学校です。普通科と職業学科が併設されています。生徒数：普通科 185 名（1, 2, 3 年）職業学科：57 名（1 年生のみ）



★学校教育目標★

「私たちはもっと輝く。力強く社会へ。」



自らの力と特性を自覚し、生徒同士で高め合い、地域の中で自分らしく自立と社会参加

を実現できる人を育成する。生徒一人一人すでに“輝き”をもっており、学校でしっかり勉強して実習もして、その“輝き”にさらに磨きをかけてほしい。今は輝いていないところ、苦手なことも、工夫して少しずつできるようになってほしい。教職員は、皆さんの輝きどころをしっかりと見つけ、「私はここが輝いている」

「私はここまでできる」ということがわかると、その一つ先のこと、次に挑戦すること、次に学ぶことが見えてきます。今は苦手なことも、どうすればうまくいくか、一緒に工夫していきます。

◎目指す生徒像

1. 自分の力や特性を自覚し、さらなる学びに挑戦する生徒
2. 自治意識を持ち、自分で考え、自分で発信できる生徒
3. 学び続け、働き続ける意欲と力を持った生徒
4. 仲間と協力して学び合うことができる生徒

◎目指す学校像

- ・生徒一人一人の特性を十分に踏まえた、丁寧な指導を実践する学校
- ・何事にもチームで取り組み、チーム力で成果を倍増させる学校
- ・地域における共生社会づくりの推進拠点となる学校

★普通科は 3 つの教育課程を設定し、一人一人の学び方を大切にする。

●生活

将来の社会的自立に向けて、必要な生活指導等を身につけます。

○生活単元学習や自立活動で、自分の好きなことや得意なことを増やし、将来の生活の幅を広げます。

○日常生活の指導の時間を十分に確保し、自分でできることを増やします。

●基礎

将来の社会的・職業的自立に向けた基礎的な技術や働くうえで必要な意欲・態度等を身につけます。

○週 6 時間の充実した作業学習を通して、機器の操作や作業の手順・連絡・報告・相談の仕方を学びます。

○日々の係活動や清掃活動では一人一人が役割を果たすことを大切にします。

●実践

企業等への就労を視野に、必要な意欲・態度・技術等を身につけます。

○作業学習には学校外での就業体験学習を盛り込み、学校で学んだことを企業等の現場で実践します。

★職業学科 1 年生では、それぞれの科の 3 つのコースを体験します。

●生産技術科では、パン・菓子や布製のバッグ、野菜など、校内や近隣の方々へ販売をする製品作りを行います。

●流通・サービス科では、パソコン操作を含めた事務作業や喫茶サービス室での接客業務など、各種サービスや環境の整備にかかわる仕事を行います。

これらの学習活動を通して、働く力を高め、企業就労を目指します。

★地域や産業界と共に生徒を育む教育

周辺道路を清掃する地域貢献活動や商工業団体と連携した就労体験活動、市博物館との連携など、学校で学んだ力を実際の社会で生かす取組を行います。

★施設設備

高等部のみを設置する特別支援学校であることを踏まえて様々な作業種が学習できる施設・設備を整備しました。

パン工房室（ベーカリー茶々）、喫茶サービス室（茶房わかくさ）、事務作業室（オフィスわかくさ）、被服デザイン室、



木工室、陶芸室、農作業班控室。



授業の一環として現場実習の場を探しておりますので、今後ともどうかよろしくお願いたします。本日はありがとうございました。

★委員長報告

親睦活動委員会

細淵克則委員長

ロータリー財団から報告します。5/14 に奨学生の選考試験があり、2 人を選考しています。又、昨日の補助金審査委員会で入間RCの補助金でのタブレット 10 台は決定しています。西山年度での贈呈準備宜しくお願いたします。

<出席報告>

馬路宏樹委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
42 名	31 名	75.6%	-----

事前欠席連絡 3 名

<ニコニコBOX>

書間和弘 S A A

粕谷康彦君、木下登君、書間和弘君～入間わかくさ高等特別支援学校 山口伸一郎校長、今日はお忙しい中お出でいただき、誠に有難うございます。卓話宜しくお願致します。

関根靖郎君、山岸義弘君、宮崎正文君、後藤健君～申し訳ありません早退します。

¥7,000 累計¥785,869

■回覧覧、配布物

- ① バギオだより 5 月号
- ② ハイライトよねやま 194
- ③ コーディネーターニュース 6 月号
- ④ 「埼玉発世界行き」奨学生募集ポスター送付
- ⑤ 地区大会スナップ写真データのご案内
- ⑥ 5/22 玉岡かおる講演会ご案内
- ⑦ 他クラブ週報
- ⑧ 入間RC週報 4 2 号

RI2570 地区 5・6 月の粕谷会長スケジュール 2015～2016 年度

2016 年 5 月			2016 年 6 月		
日	曜	事業などの内容	日	曜	事業などの内容
9	月	4 クラブ合同懇親会	3	金	新旧合同会長幹事会
14	土	入間市環境まちづくり会議			
18	水	入間市商工会 56 回通常総代会			
21	土	大宮 RC 60 周年記念式典			
26	木	豊岡中学校区青少年育成推進会			

発行 入間ロータリークラブ

■事務所 〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイソライ竹101号 TEL 04-2964-1700 FAX 04-2965-5788 Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場 丸広百貨店入間店6Fバンケットホール TEL 04-2963-1111 ■例会日 木曜日12:30～13:30

■編集委員：岩崎茂 山岸義弘 吉永章子 豊田義継

